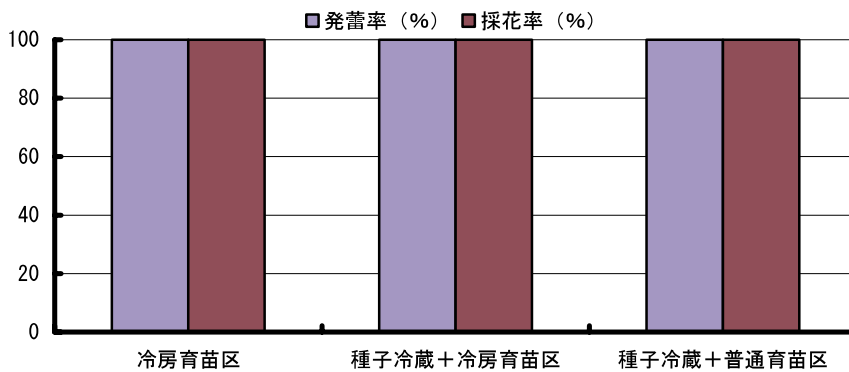




種子冷蔵苗を利用したトルコギキョウの栽培



ロゼット化した株

(品種：キングオブスノー)

図1. 育苗方法の違いが生育・開花に及ぼす影響について(2005)

注) 1. 試験区：種子冷蔵区は播種後、35日間10℃冷蔵処理し、その後35日間普通育苗。

種子冷蔵+冷房育苗区は種子冷蔵後に42日間冷房育苗。

冷房育苗区(慣行)は播種から定植まで55日間冷房育苗。

2. 耕種概要：(1) 品種：エクローサグリーン。(2) 定植：9月2日。(3) 最低夜温は13℃。

表1 育苗方法の違いがトルコギキョウの生育・開花に及ぼす影響(2005)

区名	発蕾日 (月/日)	節数 (節)	収穫日 (月/日)	切り花長 (cm)	側枝数 (本/株)	茎径 (mm)	有効花蕾数 (個/株)
冷房育苗	10/10	10.5	12/18	68	2.9	4.3	4.6
種子冷蔵+冷房育苗	10/13	10.5	01/04	69	2.9	4.4	4.4
種子冷蔵+普通育苗	10/21	11.4	01/16	73	2.8	5.3	4.3

県内のトルコギキョウの生産は、冷房育苗を用いた栽培が主流ですが、福岡県等の他産地では育苗経費を軽減するため吸水種子を低温処理した種子冷蔵苗を利用した栽培が多くなってきています。そこで、本県への種子冷蔵技術の導入を図るため冬出しの作型で、種子冷蔵とその後の育苗方法について検討したので紹介します。

試験区は、種子冷蔵+普通育苗区、種子冷蔵+冷房育苗区、冷房育苗区(慣行)とし、品種は比較的ロゼット化しにくい‘エクローサグリーン’を用いました。その結

果、種子冷蔵と普通育苗の組み合わせでもロゼット株の発生はみられず、全て発蕾し採花できました(図1)。一方、切り花品質は冷房育苗と同等以上となりましたが、着花節位が高くなり、収穫時期は一ヶ月以上遅れました(表1)。今後は‘エクローサグリーン’よりロゼット化しやすい‘キングオブスノー’(写真)等の品種も用いて、冷房育苗法と同等以上の効果が得られる種子冷蔵法および育苗法について検討する予定です。

(花き担当 西内隆志 088-863-4918)

高知県農業技術センターニュース 第46号

平成19年1月1日

農業技術センター

〒783-0023 高知県南国市廿枝1100

TEL (088) 863-4912

FAX (088) 863-4913

農業技術センター山間試験部

〒789-0315 長岡郡大豊町中村大王3523-7

TEL (0887) 72-0058

FAX (0887) 72-1544

<http://www.nogyo.tosa.net-kochi.gr.jp/kikan/kenkyu/se/home/>

編集発行 高知県農業技術センター

所長 吾妻 浅男

果樹試験場

〒780-8064 高知市朝倉丁268

TEL (088) 844-1120

FAX (088) 840-3816

<http://www.nogyo.tosa.net-kochi.gr.jp/kikan/kenkyu/kaju/index.htm>

茶業試験場

〒781-1801 吾川郡仁淀川町森2792

TEL (0889) 32-1024

FAX (0889) 32-1152

<http://www.nogyo.tosa.net-kochi.gr.jp/kikan/kenkyu/tya/index.htm>